



宇宙

Vol.62

●題字は深町正喜氏



「下笠ダム」 小南達矢氏撮影

■ GONGOVA 2	■ 新人紹介 6
■ 訪問看護ステーションが移転しました 3	新人オリエンテーション 新人歓迎会
■ 内田弘慈さんとだるま愛育園 4	■ 日田漫歩 (48) 8
■ 聖陵トピックス 5	ツバキの名花「正義」
グラウンドゴルフ大会	■ ストリーム デイサービス 8
～「環境にやさしい地産地消型エネルギー」～ 木質バイオマスボイラの導入	■ 編集後記 8

GONGOVA

2月27日より3月5日まで、タイ国北西部山岳少数民族居住山村に、GONGOVA（ゴンゴバ）への医療支援として参加、滞在させて頂きました。

GONGOVAとは、Grassroots Overseas Non-Governmental Organization (NGO) Volunteer Activity Programme（草の根国際協力研修プログラム）の略称で、川嶋辰彦先生・学習院大学名誉教授が率いるNGOによる国際ボランティア活動です。

福岡空港より6時間、見渡す限り山のない広大な平地の中にあるバンコク・スワンブーム空港に到着しました。国内線に乗り換えてチェンライ国際空港まで1時間半、車に乗り換え2時間程度、途中より山岳地帯に入っていく、漸く目的地のホエヒンラートナイ村 ([https://www.google.co.jp/maps/place/19°17'45.4"N+99°22'44.5"E](https://www.google.co.jp/maps/place/19°17'45.4)) に辿り着きます。タイの季節はHot・Hotter・Hottestといわれるそうですが、日中40℃近くになり、早朝は10℃を割るという、日田以上に寒暖差の激しい土地で、荷物を減らす目的で薄着をして、震えながら日本をたった時とは一変し、北半球で同じ季節とはいえ、とても暑い所でした。乾燥しているため、日陰や部屋に入ると涼しいです。

先に村に入って活動しているGONGOVAの指導者参加者16名と、私と同日に入村したタイ国メーファールアン大学の学生10数名に混じって、村の生活が始まりました。ホエヒンラートナイ村は、山間の標高1000mの地に約20戸100人のカレン族の住民がいます。まず、村の案内をして頂きました。高地のため忽ち息が上がリ、日頃の運動不足を悔いる中、高台に登ると四方が山に囲まれ、山に沿って所狭しと建っている高床式の木造住宅群を見渡せます。更に登ると、日本とは若干系統の違う仏像が鎮座した施設があり、閉じられた扉の向こうに、お顔だけがのぞけます。また、これまでに村民とGONGOVA



学習院大学名誉教授 川嶋辰彦先生（右）
聖陵岩里病院 医師 山田隆史（左）



高床式の木造住宅

が建てた生活用水や防火用水の貯水塔、シャワー、トイレ等の衛生施設をあちこちに認めます。たくさん鶏や鴨が我が物顔で闊歩し、犬猫も見かけます。山の中なのでヤブ蚊、^{アブ}蚊なども多く、寝る時に蚊帳は必要となります。初蚊帳体験は失敗し、物音に気付いてライトをつけたら、目の前に蛾がいて叫んでしまいました。街灯はありませんが、月が出ていれば、月明かりで影ができるくらい明るく、ライトがなくても十分に外を歩けます。また、これでもかといわんばかりに、満天の星空を見渡せます。日本も昔はこのような状態だったのででしょうか。朝は非常に早く、4時を過ぎると鶏の大合唱が始まり、嫌が応でも目を覚まします。かなり寒く、気温と室温が変わらないため、寝袋が必須となります。この寒暖差に当初みんな体調を崩したようですが、私が到着した頃には、ほぼ終息傾向にありました。

さて、手書きの診療所の看板を掲げて頂きましたが、感冒や作業中の怪我を除くと、最初は誰もやってきません。毎年最初は誰も来ないよ、との事です。タイは、日本で学んだ医師も多く、東南アジアの中ではトップクラスの医療レベルにあるのですが、医師不足と都市への偏在化が顕著な状態にあり、地方の医療は看護師がなんとか補っている状態です。国民皆保険制度も10数年前より始まってはいるのですが、数%の国民は捕捉されておらず、その数%に山岳少数民族が入っています。村人は、医師に会う機会もなく、何をされるかわからない、非常に恐れているとの事でした。院長達が行っていた例年と比べ、今年の医者はあまり怖くなさそうだと噂がすぐに村を駆け巡ったそうです。しかし、結局例年通り出足が遅かった原因について、今年は看護師が一緒じゃなかったからではないかと考えています…信用のおけない風



タイ王国 ホエヒンラートナイ村の夜空

体だと思われていたのではないと信じたいところです…。さて、子供達による探りが入り、大丈夫そうだった好奇心の強いお母様方がやってきた後は、一気に忙しくなります。男性は、山々での農耕による重労働が原因と思われる膝痛が多いです。女性は腰痛がほとんどですが、小さい時から150度ほどに腰を屈曲した姿勢で手織り物をしているせいと思われます。また、共通して、眼疾患、慢性呼吸器疾患が多いです。今の日本であれば、何とでもなるものも多いです。しかし、しょうがない、そんなものだ和我慢するしかないのが現実です。恵まれすぎた日本に生まれた感謝を実感します。

川嶋先生、現地所長の富田育磨先生、ボランティア参加の若者達と、現地事情や各国のNGOの話、



診療の様子

人生観、死生観、その他いろいろな事を語り、意見交換させて頂きました。よく事情を把握せずに参加した私に対し、とても親切に御教授頂き、非常に有意義で、楽しいものでありました。最近若干硬直気味であった私の人間関係にあって、今後の地域医療活動、生き方を考えるヒントの一つとなったと思います。日本の過剰なまでの医療依存や進む高齢化についても考える事となりました。この件に関しては、博多から日田にただただでもだいたい考えが変わったわけではあります。

残念ながら短期間の参加となりましたが、他にも書き切れないたくさんの経験や出会いを得ることができ、今後に生かし、また、参加できればと思います。

聖陵岩里病院 医師 山田隆史

訪問看護ステーションが移転しました

4月より**訪問看護ステーション**と**訪問リハビリテーション**が合併し、事業所も引っ越しました。合併することにより、大きな変化が二つあります。

一つは、岩里病院以外の主治医から直接指示書もらえるようになったことです。これまで、3か月に一度は必ず当院に受診、または訪問診療をお願いしていましたが、そのことで利用者や家族の方にかなり負担をかけていました。これからは、その必要性がなくなり、指示の期間も1か月～6か月と長くとれるようになりました。

二つ目に、これまでの訪問リハビリは介護保険下でしか行けませんでした。これからは、条件にあえば医療保険でも訪問できるようになりました。これにより、対象となる方が増えました。

また、PT（理学療法士）1名、OT（作業療法士）2名とセラピストも増えています。在宅でのリハビリ、在宅生活で心配なことや聞きたいことがある方は訪問看護ステーションにご相談ください。

岩里病院

稲尾製材所

岩里病院
駐車場

ステーション

訪問看護ステーションいわさと
日田市銭淵町4-3
TEL 0973-22-1618

内田弘慈さんとだるま愛育園

内田弘慈さんとだるま愛育園

昨年11月、だるま愛育園を創設し、カンボジアの孤児たちを援助してきた内田弘慈さんが亡くなりました。聖陵会ではアンコール小児病院とだるま愛育園に職員や患者さんから頂いたお金を寄付してきました。あらためて内田さんとだるま愛育園の事をご紹介します。

内田さんがはじめてカンボジアを訪れたのはアンコールワット遺跡の写真撮影や拓本を作るための出版取材が目的でした。和平前の1991年3月のことです。そこで目にしたのは、内乱で社会基盤が崩壊し、住む家もなく日々生きるのに精一杯の人々の姿だったと言います。生活状況は劣悪で、炊事も洗濯も濁った川の水で済ませていました。子供達は悪性の下痢に苦しみ、痩せた姿で横たわっていました。かわいそうに思い下痢止めの薬を渡しても、実際その薬を飲む為の水は遺跡の堀のごった水を空き缶ですくったものでした。元々は芸術家でしたが、仏像との出会いから仏の道に導かれ僧侶となっていた内田さんは、何もせずそこを立ち去ることが出来ませんでした。調べてみると、飲み水が原因の下痢で命を落とす事もあることが分かりました。「人々が飲み水によって苦しんでいる。この国に必要なのは薬よりもまず水だ。あふれるほどの水がありながら飲める水がない。今やらなければ、いつできるのか。自分がやらなければ誰がやるのか。」内田氏の心は激しく突き動かされ、井



戸掘りを始めるきっかけになったのです。

だるま愛育園のはじまり

内田さんが井戸掘り支援活動でカンボジアを訪れている際、ある村で「子供を育ててくれないか」と依頼されました。井戸掘り支援活動で、有名であった内田さんであれば、何とかしてくれるとの思いだったと思われま

す。内田さんは一度断ったものの、子供達の肉親が病死していたり、病弱で育てることが出来ないなど、育児に困難な状況であることがわかり、子供達を引き受けることにしました。最初に引き取った子供は内田さんの養子として引き取りました。しかし引き取る子供が多くなり内田さんは一人で世話をすることも出来ないようになっていきました。そこで内田さんはこれからの子供を育成するための施設「だるま愛育園」を設立しました。1993年のことでした。以降数多くの子供たちがだるま愛育園で育てられています。

これまで聖陵会では、アンコール小児病院に職員と患者さんからいただいたお金を合わせて約1200万円を寄付してきました。また一昨年だるま愛育園に50万円、昨年はGONGOVAのNPO法人に50万円、だるま愛育園に50万円寄付を行いました。皆さんから寄付していただいたお金は各団体の貴重な財源となっています、今後のご協力もお願いします。

内田弘慈さんのこれまでのご功勞に感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。また、聖陵会としても継続して支援を続けていきたいと思



グラウンドゴルフ大会開催!

平成27年3月28日(土)三和小学校にて、第14回聖陵花月ワ
リニック杯グラウンドゴルフ大会が行われました。

五分咲きの桜の木に囲まれながら、3月とは思えないほど照りつけ
る太陽のもと、水分補給をこまめにしながら進めました。

当日は、患者さんや地域の方が55名・院長含む職員14名、計
69名が参加しました。

「あなた達とすると面白いねえ〜」「なかなか上手やねえ!」な
ど、うれしい言葉も沢山いただきました。

また、ホールインワンを決めた喜びの声などがグラウンドに響い
ていました。

世間話をしたり、お互いを応援しながら交流を深めることがで
き、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。



環境にやさしい地産地消型エネルギー ~木質バイオマスボイラの導入~

工事中は皆様にはご不便をおかけしましたが、聖陵ストリームでは平成27年2月に木質バイオマスボイ
ラが完成。小さいながらも経済的かつ地球環境への貢献を兼ね備えた設備を導入、本格稼働を始めまし
た。同様の設備は大分県での導入は2番目で大分県の補助金(林業再生県産材利用促進事業)活用により実
現しました。

木質バイオマスボイラでは『木質チップ』を燃料として燃やし、燃やした時の熱を高温水として取り出し
施設内のお風呂の加温やシャワーに使用します。これにより聖陵ストリームでは年間約8,800ℓ使用され
ていた灯油をゼロにし木質燃料に置き換える事で年間約200トン(スギの木が吸収するCO2量 約1万5千本
分)ものCO2を削減することができる見込みです。木質バイオマスボイラを利用することにより、経済的
な省エネ効果だけではなく様々な社会貢献が期待されています。



海外からやってくる化石燃料(石油、ガス)を地域の森林エネルギーに置き換えることで「地産地消」を実現させました、この仕組みでは燃料の製
造、輸送等に新たな雇用創出も生まれるなど地域活性化が期待されています。

新人紹介



岩下理香

所属／岩里病院看護部
 職種／ナースエイド（看護助手）
 趣味・特技／子どもの野球の応援
 ● 笑顔を忘れず頑張ります。



穴井 楓

所属／岩里病院栄養給食科
 職種／調理師
 趣味・特技／アニメ鑑賞、スポーツ、料理
 ● 自分自身成長でき、社会に貢献できる人間になりたいです。



上村亜未

所属／岩里病院医事課
 職種／事務
 趣味・特技／読書
 ● そっかしいところがありますが、元気と体力には自信がありますのでよろしくお願い致します。



河津朱里

所属／岩里病院看護部
 職種／病棟看護師
 趣味・特技／バスケットボール
 ● 分からないことも多いですが、早く仕事に慣れるよう頑張ります。



櫻木ひかる

所属／岩里病院医事課
 職種／相談員
 趣味・特技／散歩、旅行、水泳
 ● たくさんの人とかかわって、聖陵会のこと、日田のことをもっと知りたいです。



新川ちなみ

所属／岩里病院看護部
 職種／ナースエイド（看護助手）
 趣味・特技／音楽鑑賞、読書、カフェ巡り
 ● 明るい挨拶を心がけ、新人としての気持ちを忘れず一生懸命頑張りたいです。



武石佳江

所属／岩里病院看護部
 職種／病棟看護師
 趣味・特技／テニス
 ● 1日でも早く役に立てるように頑張ります。

平成 27 年度 採用者オリエンテーション

4月1日聖陵ストリームにて『平成27年度採用者オリエンテーション』が行われました。

理事長講話をはじめ聖陵会の概要・接遇や委員会のお話をして頂き、聖陵会の一員になったことを改めて実感し、身の引き締まる思いでした。

今回企画をして頂いた教育委員会の方々、そしてお忙しい中お話を頂いた岩里理事長をはじめ、先輩方に深く感謝致します。

これから、頑張ってお参りますので、宜しくお願い致します。

病院事務 上村



新人歓迎会

4月10日（金）、マリエールオークパインにて新人歓迎会が行われました。お忙しい中、たくさんの来賓の方々にもご出席頂き、盛大な会となりました。余興では、上司と新人職員によるジェスチャーゲームが行われ、上司との距離も少し縮まった様に思います。

新人職員の新しい力で、聖陵会を盛り上げていてもらいたいものです。

私たち先輩職員も負けない様、初心を忘れることなく、協力し合いながら、聖陵会を盛り上げていきます!!





長石明莉

所属／岩里病院リハビリテーション
 職種／理学療法士
 趣味・特技／映画鑑賞
 ● 聖陵会の一員として貢献できるように頑張ります。



中嶋日美香

所属／岩里病院看護部
 職種／病棟看護師
 趣味・特技／1人でカラオケに行ったり、韓流ドラマを見ること。
 ● 5年後の東京オリンピックにボランティアナースとして参加する事を人生の目標にしています。



平井健太郎

所属／岩里病院リハビリテーション
 職種／理学療法士
 趣味・特技／スポーツ（体を動かすこと）
 ● 社会人としてのマナーを身につけ、理学療法士として大きく成長したいです。



平川里緒

所属／岩里病院医事課
 職種／事務
 趣味・特技／ドライブ
 ● 他部署の方からも頼られる存在になれるよう頑張ります。



宮木智恵

所属／岩里病院栄養給食科
 職種／調理師
 趣味・特技／K-POP、C-POPを聴くこと、読書、卓球
 ● ネコ大好きな双子の母です。小学校最後、子どもたちに負けたくないよう頑張ります。



矢羽田飛鳥

所属／岩里病院看護部
 職種／ナースエイド（看護助手）
 趣味・特技／ダーツ、スポーツ、カラオケ
 ● よろしくお願いします。



渡邊悠希

所属／岩里病院看護部
 職種／ナースエイド（看護助手）
 趣味・特技／ドラム、車のドレスアップ
 ● まだまだ迷惑をおかけしますが、仕事を早く覚えて頑張ります。



大内美香

所属／訪問看護ステーションいわさと
 職種／看護師
 趣味・特技／カラオケ、ゴルフの打ちっぱなし
 ● 7年半のデイサービスでの介護経験を生かし、在宅で過ごす患者さんとご家族が安心して暮らせるよう援助していきたいです。



石田由美子

所属／聖陵ストリーム 3F 介護
 職種／介護福祉士
 趣味・特技／バイク、キャラ弁作り
 ● パートのため短時間勤務ですが、その分しっかり頑張っていきたいです。



笹倉真樹

所属／聖陵ストリームデイケア
 職種／介護
 趣味・特技／お菓子作り、水泳
 ● 皆さんに指導してもらい、早く仕事が覚えられるよう頑張ります。



佐藤賢治

所属／聖陵ストリーム
 リハビリテーション
 職種／理学療法士
 趣味・特技／ツーリング
 ● 資格を取って戻ってきました。ちょっと時間がかかりましたが、今まで以上に頑張ります。



長崎未浪

所属／聖陵ストリーム
 リハビリテーション
 職種／理学療法士
 趣味・特技／映画鑑賞
 ● 周りの人にペースを合わせられるよう努力したいです。



藤原直美

所属／聖陵ストリーム看護部
 職種／准看護師
 趣味・特技／息子のサッカー観戦、娘のテニス観戦、小旅行
 ● 長いブランクがありますが、早く仕事を覚えて頑張りたいです。



藤原 慎

所属／聖陵ストリームデイサービス
 職種／介護
 趣味・特技／料理、釣り
 ● よろしくお願いします。

日田漫歩 ④⑧

ツバキの名花 「正義」

梶原義則



4月の「花冷え」、5月の「若葉寒」も佳境を過ぎ、ほどなく6月の「梅雨寒」を迎える。ところで「春寒し」の3月下旬、元日田高校長の宇野公是さんと耳納連山の北麓に広がるツバキの里の久留米市草野町を訪ねた。

宇野さんの話に興味をそそられたからだ。

「最盛期に女房とウオーキングに行き、『正義』という久留米ツバキの名花に感嘆した。まさよし、と読む」。更に「ガイドの説明では、有馬の殿様に献上したところ、正(まさ)に好(よ)しと激賞された」のが名前の由来とか。「好」が「義」に転じたらしい。

久留米がツツジで有名なのは知っているが、寡聞にして「ツバキの里」にはうとかった。案内されたのは、吉木地区にある立派な門構えの今村泉さん方。裏庭に樹齢300年の正義(樹高7m)があった。濃紅色で八重の蓮華咲きの大輪の数々。久留米地方を中心に江戸時代から普及しているヤブツバキの古花。大小の白斑が入り、華麗な名花と言うにふさわしい。

野点のお茶を頂きながら、ガイドから更に面白い逸話を聞いた。オランダ東印度会社の在外商館医として長崎に派遣されたシーボルト博士が1829年に離日する際、多くの標本や植物コレクションを持ち帰った。その中に、正義の接ぎ木苗もあった。アントワープ港に着くと枯死寸前だったが、植物園長が蘇らせた。その園長の名前をとって「ドンケラリー」と名付けられ、ヨーロッパに広く普及したという。

正義の古木は6軒で保存され、いずれかがドンケラリーの母樹らしい。久留米つばき園(500品種・2000本)、世界のつばき館(原種100種以上)もある。来春のツバキ祭り訪問と鑑賞を、ぜひお勧めしたい。



「正義」と宇野さん

経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、編集委員を経て2000年4月、日田赴任。

ストリーム デイサービス

デイサービスでは、レクリエーションの一環として壁画を作っています。みんなで話をしながら手先を使うことで、リハビリ効果も兼ねてたのしく作業しました。ストリームに来られた際は、玄関先に飾っていますのでご覧下さい。



デイサービスでは体験利用を行っています。是非、一度体験利用をされてみませんか？ 私たちと楽しい一日を過ごしましょう！ お気軽にご連絡ください。
※知人、友人の方のご紹介でも結構です。
※費用：450円(昼食・おやつ代)がかかります。

TEL 0973-23-6005 FAX 0973-26-3114
相談員：四藤(しどう)

編集後記

五月の風が心地良い今日この頃、窓の外に小さなかげろうの姿を見かけるようになりました。私たちの住む街は『水郷ひた』と呼ばれるほど水資源が豊かなところですよ。

この恵まれた自然環境の中、聖陵会の施設が雄大な三隈川沿いに隣接しています。日頃、あたりまえのように眺めている三隈川ですが、我々人間もこの美しい水に生命を支えられて生活しているのです。今日も一日、川の流れるように清らかな気持ちで仕事に励みたいと思います。



医療法人 聖陵会

- ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/index.html>
- E-mail ryo-ho@be-net.kcv.jp

救急指定 聖陵岩里病院

訪問看護ステーション いわさと

介護老人保健施設 聖陵ストリーム

居宅介護サービスセンター

訪問介護サービスセンター

こども発達・支援センター 銀河

聖陵花月クリニック

アンコール小児病院 (カンボジア)